

## 道徳「朝市のおはようございます」

今週の道徳では「あいさつ」の大切さについて考えました。ひばり中の2、3年生は、廊下で友達や先輩、先生とすれ違ったとき自分から挨拶をしている人がたくさんいます。1年生も元気のよい挨拶で学校生活を明るくしていきましょう。

道徳の感想から「あいさつは、なぜ大切なのだろう」

一言でたくさんの人を笑顔にできるから。人とのやり取りが増え、挨拶するだけで仲良くなれるから。

人の心を動かし、よい気分にすることができ言葉であり、知らない人ともあいさつをすることで通じ合うことができるから。

人と人との関係を築いたり、悲しんでいる人がいたら少して元気づけられるかもしれないから。

あいさつは自分と相手の仲を深めたり自分がされて笑顔になったり、他人を笑顔にできる言葉だから。

すれ違ったときにあいさつされたらうれしいから。自分の存在が相手に伝わっているということ。

あいさつは人と人をつなぐ大切なコミュニケーションの一つで会話などは基本的にあいさつで始まるし、文化の一つみたいなものだから。

## 作文紹介「中学生になって」③

### 「新しいことにチャレンジする」

C 組

私は中学校生活で、小学校ではやったことのないことや苦手なことに積極的にチャレンジしたいです。なぜなら、自分が得意なもの簡単だと思うことばかりを優先して行っていたら、中学校生活を全力で楽しめないと私は考えているからです。やったことのないこと、苦手なことを乗り越えていくことで一步「中学生」というものに近づいていると感じます。

昨日、ビンゴゲームをC組全員で行ったとき、知らない人に積極的に声をかけるよう努力しました。すると、それまでのC組の印象より、みなあたたかく接してくれたので仲良くなれそうな印象になりました。また、部活を決める時も好きなことができるから入るという理由より、チャレンジできるところに入りたいと思っています。これから委員会など組織を組んで活動することが多くなってくるので、新しいチャレンジを行いつつもお互い協力し合い一つの目標にみんなで頑張れる中学生になりたいです。

一人が主導で他の人たちがそれに従うというのではなくて一人一人意見を言い、またそれを尊重していきたいと思いました。このように中学校では部活、新しいクラスの仲間、委員会など小学校にはなかったものがあり、また私はそれらのことを新しいチャレンジをして苦手なことややったことのないことを乗り越え仲間と協力できる中学生になりたいと強く思います。